

# Sound Monitor

17cmセパレートスピーカ

## SAX-TD217

取付説明書：090003-28800700

### 取付説明書

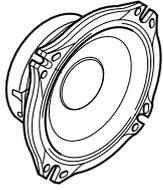
取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。販売店様へ  
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

### もくじ

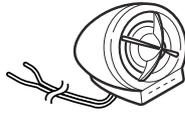
取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
接続について	接続例	5
	接続方法	6
取り付けについて	スピーカの取付	6
	トゥイーター、ネットワークの取付	8
	f 特グラフ・仕様	10

# 構成部品

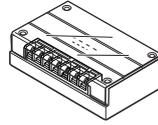
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。



① スピーカ  
x 2



② トウイータ  
x 2



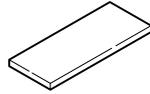
③ ネットワークボックス  
x 2



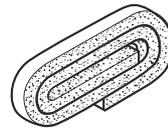
④ 両面テープ  
(トウイータ用) x 2



⑤ ブラケット  
(トウイータ用) x 2



⑥ 両面テープ  
(ネットワーク用) x 2



⑦ クッション  
x 2



⑧ タッピングスクリュ  
(ネットワーク固定用)  
(φ4×12) x 4



⑨ タッピングスクリュ  
(ネットワーク蓋用)  
(φ4×20) x 8



⑩ タッピングスクリュ  
(スピーカ用)  
(φ6×20) x 8



⑪ タッピングスクリュ  
(スピーカ用)  
(φ5×16) x 8



⑫ タッピングスクリュ  
(スピーカ用)  
(φ4×16) x 8



⑬ タッピングスクリュ  
(トウイータ用)  
(φ3×14) x 4



⑭ ファストン端子  
各x 2



⑮ キボン端子セット  
各x 4



⑯ スピードナット  
x 4

# 安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



## アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと  
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

## 警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線はしない。エアバック動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバックシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- スピーカ端子が車両部品、ボデー等と干渉や接触しないように取り付ける。事故・火災・感電の原因となります。

## 注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

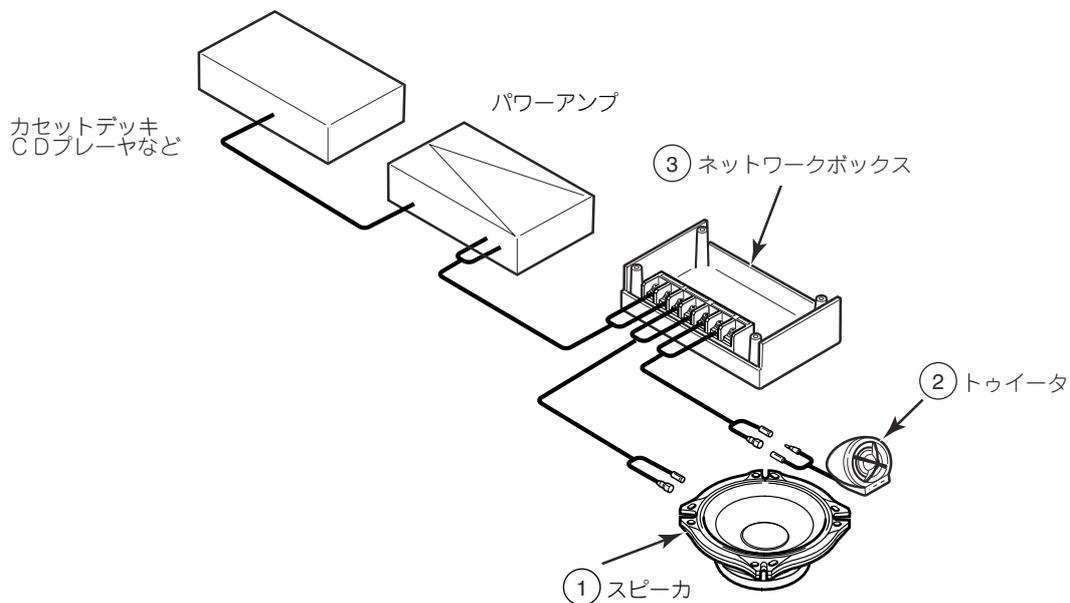
# 接続例

## 警告

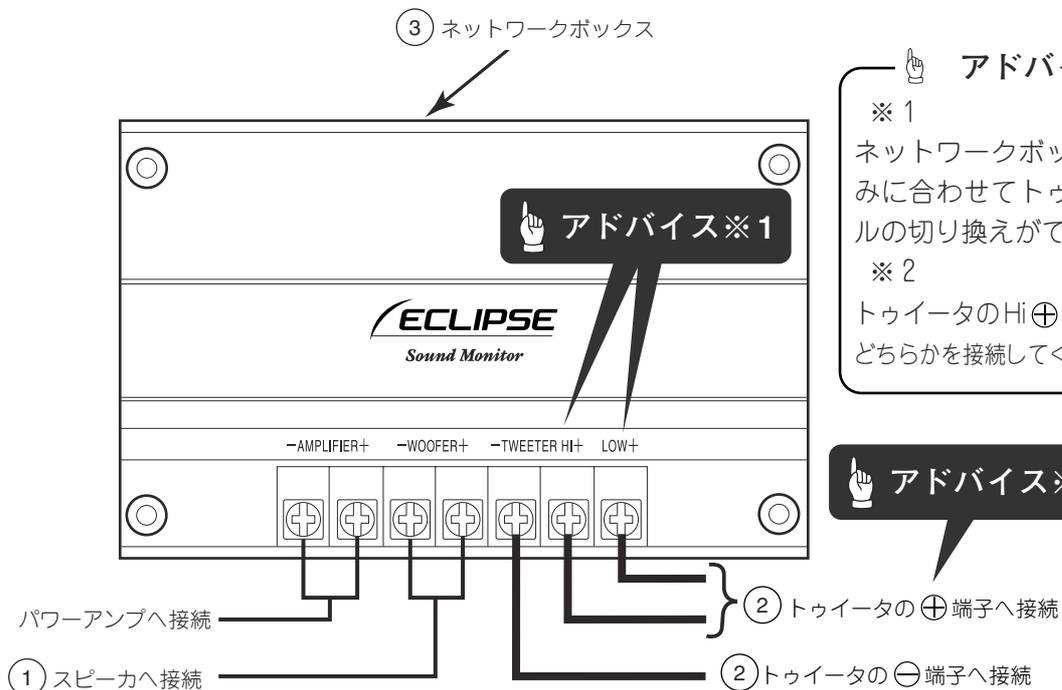
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 本体の取付けは、必ず付属のネジを使用して確実に固定してください。

## アドバイス

- メインユニットに接続する前にスピーカの取付及び配線を行ってください。
- 機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず、接続するメインユニットの取付要領書を参照してください。



## — トゥイーターレベルについて —



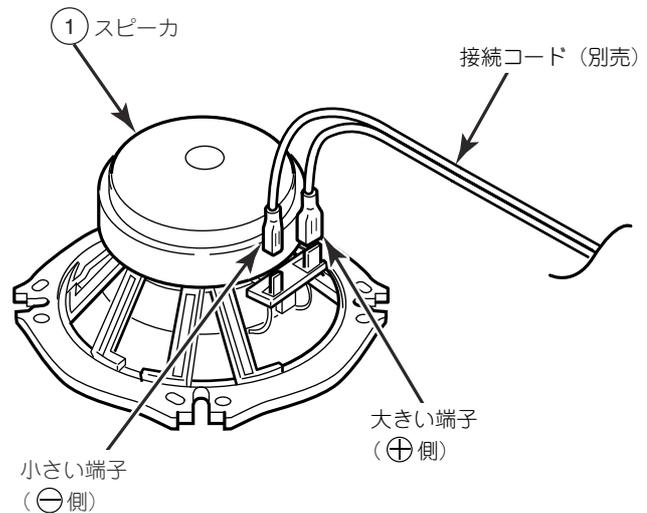
## アドバイス

- ※1  
ネットワークボックスはお好みに合わせてトゥイーターレベルの切り換えができます。
- ※2  
トゥイーターのHi ⊕ またはLow ⊕ のどちらかを接続してください。

## アドバイス※2

# 接続方法

- 1 接続コード等をファストン端子に付け替えてスピーカを接続する。



## スピーカの取り付け

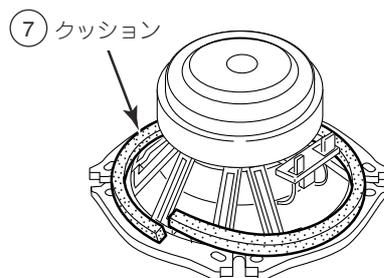
### 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 本体の取付けは、必ず付属のネジを使用して確実に固定してください。

### アドバイス

スピーカ裏側の外周面にクッションを貼り付け、使用する取付ねじ穴（4ヶ所）のクッション部をカッター等で切り取ってください。

※防振や防水の為、必ずクッションを貼り付けてください。



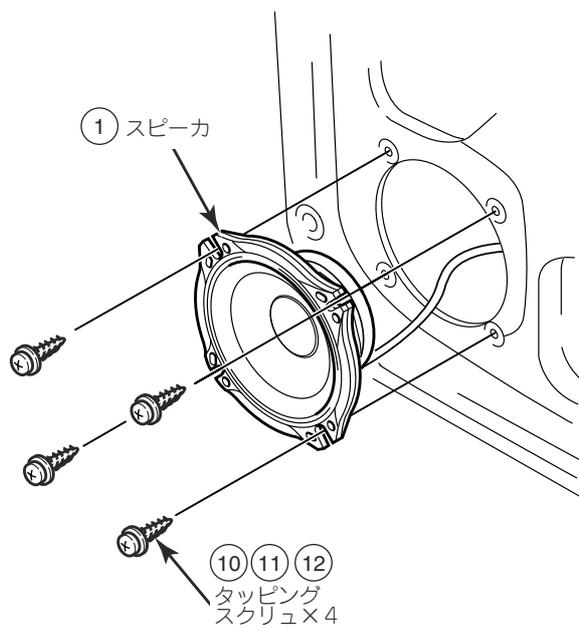
## — 取り付け例（ドアへの取り付け） —

- 1 ドアトリム、既設スピーカ等を取り外す。
- 2 スピーカを車側（既設スピーカ取付部）に取り付ける。

### 👉 アドバイス

※ 1  
車種により使用するスクリュが異なりますので、  
車側に合ういずれかのスクリュを使用ください。

- 3 取り外した部品を元通りに復元する。



👉 アドバイス※ 1

# トウイータ及びネットワークの取り付け

## 警告

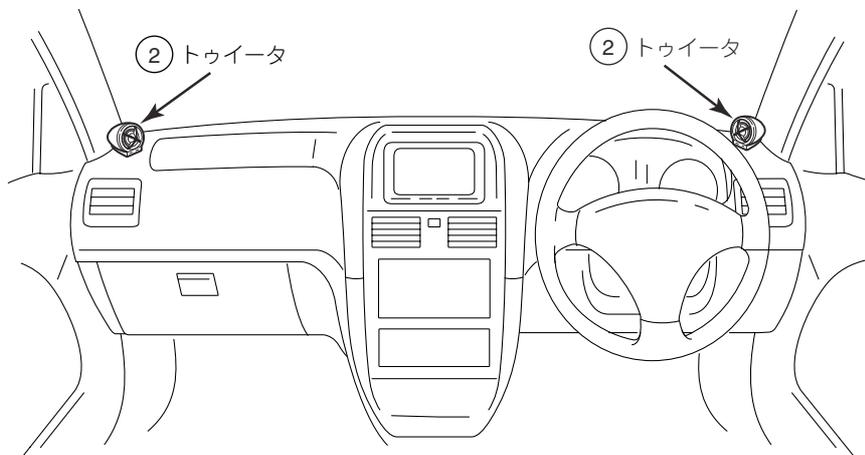
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない。エアバック動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバックシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 可動部（サンバイザー・エアバック部等）へ取り付けない。事故やケガの原因となります。

## アドバイス

- トウイータは、ダッシュボード、ドアトリム等に取り付けてください。
- エアバック、フロントガラス等と干渉しない位置に取付位置を決めてください。

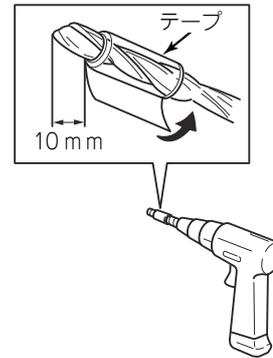
トウイータの取り付け例（ダッシュボードに取り付ける場合）

## ■取付概要

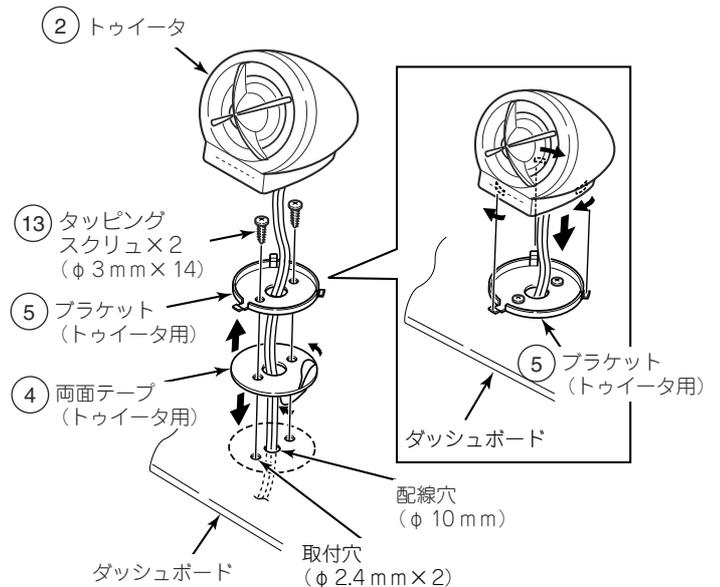


## 👉 アドバイス

ドリルの刃が必要以上挿入しないようにドリルの刃の先端から10mmの箇所にテープを巻き付けてください。

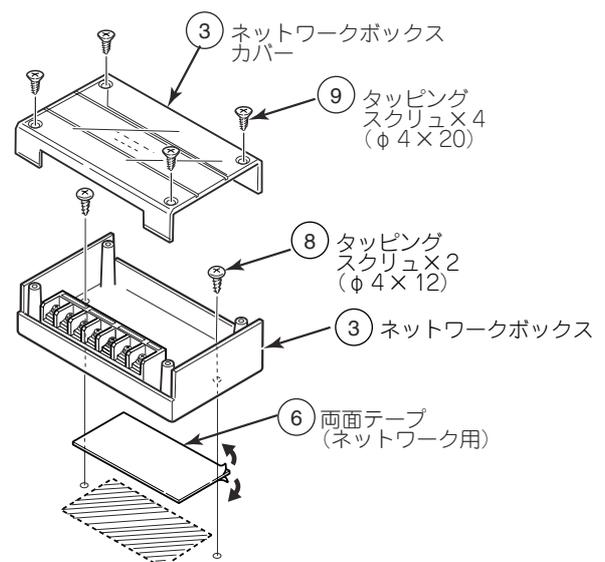


- 1 トウイータの取付位置を決め、取付穴をマーキングする。
- 2 ドリル等で取付穴をあける。
- 3 両面テープ（トウイータ用）のハクリ紙をはがし、ブラケット（トウイータ用）の底面に貼り付ける。
- 4 両面テープ（トウイータ用）のハクリ紙をはがし、ブラケット（トウイータ用）をダッシュボードに貼り付ける。
- 5 ブラケット（トウイータ用）をタッピングスクリューで固定する。
- 6 トウイータ用をブラケットに固定する。

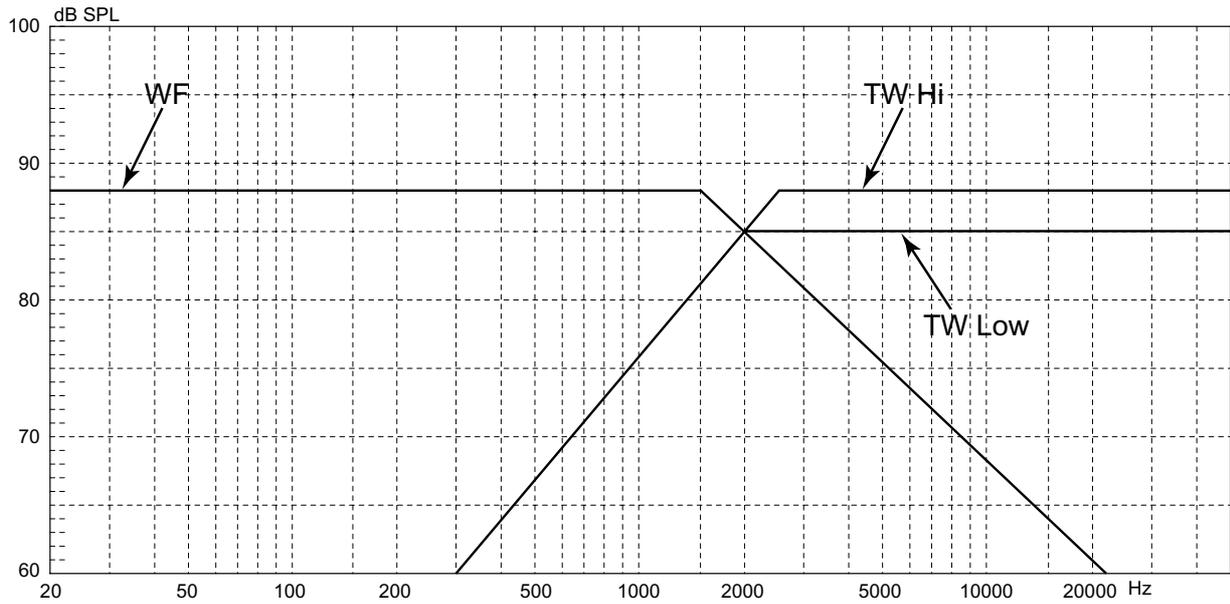


## ーネットワークボックスの取り付けー

- 1 ネットワークボックスのカバーを外し、ネットワークボックスの取付位置を決め、取付穴をマーキングする。
- 2 ドリル等で取付穴をあける。
- 3 両面テープのハクリ紙をはがし、ネットワークボックスの底面に貼り付ける。
- 4 両面テープのハクリ紙をはがし、ネットワークボックスを貼り付ける。
- 5 ネットワークボックスをタッピングスクリューで固定する。
- 6 ネットワークカバーをネットワークボックスにタッピングスクリューで固定する。



# f特グラフ



## 仕様

方	式	セパレート2ウェイスピーカ	
ユ	ニ	ッ	ト
口	径	ウーファ：17cm	
		リングトゥイータ：2.0cm	
		《トゥイータ》	《ウーファ》
イ	ン	4Ω	4Ω
ン	ピ		
ダ	ン		
ス	：		
定	格	50W	
入	力		
：		150W	
瞬	間		
最	大		
入	力		
：			
音	圧	84dB/W·m	90dB/W·m
レ	ベ		
ル	：		
再	生	200Hz～80kHz	25Hz～5000Hz
周	波		
数	：		
外	形	W65×H67×D63mm	W156×H69.5mm
寸	法		
：			
質	量	約160g	約1350g



